特集:変わりつつある公園のかたち vol.4
～長居公園「スケートボードパーク」の効果・展開について～

はじめに

スケートボードは2021年の東京オリンピックから正式種目となり、一層注目を浴びるニュースポーツとなりました。しかし、現状は街中や公園内で乗り回すことで、歩行者との安全が問題視されていると共に、構造物の破損や騒音の問題などが取り上げられるようになり、健全なスポーツとしての認識が低くなってきました。近年は、都市公園の利用者ニーズの多様化や民間の力の介入で魅力ある公園が数多く整備される中で、都市公園内にスケートパークが整備され、多世代の交流が盛んとなり、スケートボードの利用環境が少しずつ変わってきています。そこで今まで敬遠されてきたスケートパークの整備が伸びてきた背景や、公共整備としての効果や管理形態、まちづくりにおいてのスケートボードパークの位置づけ、今後の展開など公園管理者からの観点をインタビュー形式での取材を行いました。

長居公園の概要

■概要

長居公園は、大阪市東住吉区に位置する運動公園です。開園年月日は、1944年4月1日で、公園面積は65.7haとして整備されました。

■長居公園内の主な施設内容

・ヤンマースタジアム長居（長居陸上競技場）・ヤンマーフィールド長居（長居第二陸上競技場）・ヨドコウ桜スタジアム・長居プール・長居庭球場・長居トレーニングセンター・タイガーラックスケートボードパーク長居・CEREZO FUTSAL PARK NAGAI・ボウケンノモリNAGAIなど、多様な施設が点在しています。

▲NAGAI PARK公式HPより

■スケートボードパークの特長

・24時間開園（天災、災害の時は利用不可）

・年間登録料500円で利用可能。年齢による利用時間制限を実施

・初級者の利用がメインで中上級者も楽しめるコース設定

スケードボードパークについてインタビュー

2022年9月21日（水）に、長居公園の指定管理を行っているヤンマーグループの「わくわくパーククリエイト（株）」の神原清孝氏、永井梨香氏の2名に、長居公園内のスケードボードパークについて、インタビューを行いました。

インタビュー風景 ▶

■スケートボードパークを整備することが決まるまでの経緯

長居公園での指定管理者になったのは、2021年4月からで管理期間は20年間となっています。2021年以前の５年間は一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブが管理を行っていました。

長居公園の指定管理の構想が出てきた頃に、ヤンマー社内でもちょうど食事業やスポーツ事業について検討していました。公園内に多様なスポーツ施設が整備され、主なスポーツは概ねできるので、新しいスポーツ施設として、3X3やスケートボード、ボルダリングができる公園にすることを構想していました。その際、大阪市内の公園の活性化について、てんしばや大阪城公園の成功事例も参考にしました。神原さんは、当時からプロジェクトリーダーとして、管理期間20年間の指定管理で何をするかを模索しておられました。

2020年5月に公示されたコンペの募集要項をみると、樹木を大切にするということで、整備できる範囲が指定されていました。今までの構想内容は再検討することになり、スケートボード施設を設置することになりました。

■地域住民との関係について

◇地元町会との関係

公共施設の整備なので、周辺住民からの理解が大事と考えていました。整備する際に、近隣４町会の会議で、説明・コミュニケーションをとりながら進めていきました。

◇住民からの要望

スケートボードの騒音テストを様々な箇所で行った結果、現在のパーク設置場所であれば公園の境界付近で環境基準値以下となり、周辺住民からも大きな要望はありませんでした。また、使用時間を23時までという要望がありましたが、一般に開かれた公共公園の施設や遊具と同等と考えて、24時間利用可能としました。

■スケートボードパークの整備場所決定の経緯

ヤンマースタジアム長居前の広場がスケーターにとって滑りやすい場所となっていました。近隣住民や公園利用者からは、夜間の騒音や危険な走行に対して対策を求められていました。

そこで公園内の相撲場横の駐輪場を改修してスケートボードパークを整備することを検討していましたが、敷地面積が660㎡しかありませんでした。ローカルスケーターに相談すると、折角スケートパークを整備しても面積が狭いと、パークの周辺にスケーターが溢れて効果が限定的になるという意見を頂きました。また、ローカルスケーターから、長居公園はスケーターにとって聖地なので、パークができると、沢山のスケーターが来るだろうという話も聞いていました。そこで、ある程度の面積が確保できる現在の場所を決定しました。この場所は直下に地下駐車場があり、設計条件はあるが、音の拡散はスタジアム前の広場よりも抑えられていました。

■ローカルスケーターとの繋がりの経緯

ローカルスケーター４人が、このままでは後輩の若いスケーターに何も残せないと思い、大阪市に対策を要望した経緯があり、そこから大阪市に紹介してもらいました。ローカルスケーター４人の年齢は30歳代で、昔は長居公園で滑っていたそうです。その後、整備にあたり、騒音テストで滑ってもらい、スケートの使用時の細かい納まりについても設計時に協力してもらいました。

■設計・整備時の工夫・こだわり

設計内容について、ローカルスケーター４人のこだわりがすごかったです。全面コンクリート敷として計画していたため、暑さでコンクリートが膨張し、ひび割れが生じないよう目地幅をスケートに影響しない最小2㎜に設定しました。また、コンクリートの表面磨きもこだわり、ちょうどよい磨き具合を色々と見て周った結果、物流倉庫の床がよかったようです。また細かいことで、手摺の支柱部分で、上部のつなぎ目のところに、タイヤが当たらないように細くして納めてほしいという要望までありました。

パーク内は滑りの感覚に影響するため表面勾配はつけていないので、雨上がりは、利用者が自分達でモップ掛けを行っています。

パーク内は全てコンクリート舗装なので場内の日除け対策は難しいです。最初、パークの真ん中に木を植えるような話をしていましたが、スケート利用に支障が生じるため、取りやめました。パーク南側の場外に遮音効果も兼ねたサクラを補植しながら、緑陰を形成していきたいと考えています。

■スケートボードパークの利用者について

◇スケートボードパーク利用者の傾向

24時間オープンしているため、仕事終わりで夜間に訪れる方が非常に多いです。夜間は、休日前の金土曜が比較的多く利用されています。夜間利用時間としては、21時～24時までが多く、深夜3時までも利用が多くみられます。なお、夜間警備については入口に警備員を配置しています。

利用客は、基本的に近隣周辺の東住吉区や住吉区など大阪市南部から来る人が多くみられます。また、堺市から来る人も多いです。大型連休の時は、沖縄や東京等の遠方から来る人もいました。交通手段は、近隣が多いため、自転車やバイクで来る人が多いが、車で来る人もおられます。

利用人数としては、今年8月の延べ利用者数は、昼（9時～21時）4,400人、夜（21時～9時）3,000人でした。なお、今年の8月は暑かったので、利用者が少なくなっていたかもしれません。今年の5月は、昼夜あわせて11,600人の方が利用されました。24時間オープンは５月９日からでしたが、その前のGWの利用者数は、昼9,218人、夜2,382人と非常に賑わいました。

利用者の形態は、若い利用者が多いですが、親子連れや70歳代の高齢の方も利用させており、多世代が利用しています。

◇利用スケーターからの評判・要望

コースに対しての課題や要望はあまり聞いていません。年間登録料500円で利用できることと、24時間利用できることが、スケーターにとっての魅力があるそうで、非常に評判がよいです。

■パーク内の使用ルール・運営等について

◇スケートボードパークでのルールの徹底・会員登録

スケートボードパークの運営・ルールについて、ローカルスケーター４人と毎週土曜夜21時頃に現地で運営会議を開催しています。新しく７人のメンバーを加えたローカルスケーター11人が腕章をつけたクルーとして活動しており、ルールを守っていない人に注意を促しています。（18歳未満の23時以降の利用、喫煙、パーク外でのスケートボードなど）また、年齢区分で会員制にしていることで、安全な運営を行っています。（写真参照：色により年齢区分と使用できる時間で区切られており、一目で管理がしやすくなっています。）

パークの使用ルールに同意して頂き、会員登録（登録料500円）を行っています。また、スケートボードパークのインスタグラムを開設しているので、そこで、注意事項を分かりやすく動画で紹介しています。インスタグラムを使用していない方には、現地にて説明を行っています。

◇事故対策

スケートボードによる怪我や事故については、基本的に自己責任としています。安全管理として、12歳以下はヘルメット着用義務としています。コース点検は、月に１回の定期点検を行っています。定期点検は平日昼間に行い、パークは閉鎖せず実施しています。基本的には24時間開園していますが、台風や雷等は閉園します。その際は、インスタグラムで案内を発信しています。しかし、雨の日の施設利用はほとんどありません。

◇スクール・イベントについて

スクールを開催すると、その時間帯は一般の人が滑ることができず、いつでも滑れる場所を提供するという趣旨から外れるため、実施していません。ただし、３ヵ月に１回程度の体験会を実施しています。参加者は、子どもが多いですが、親子での参加もあります。

◇清掃活動

毎月第１土曜の夜にクリーンナイトとして、ローカルスケーターの方々や我々も参加して、パーク内外の清掃を行っています。

■スケートボードパークの整備効果について

スケートボードパークを整備する前は、公園利用者とのトラブルや騒音問題が多く発生していました。しかし、スケートボードパークを整備してからは、マナー違反はほぼ見られなくなりました。整備前の2020年5月は、1ヵ月で1382件が警備員により注意がなされましたが、今では20件以下になり、大幅に減少しました。地元町会長からも、安全安心な公園になって良かったという言葉をいただきました。

このようなスケートボードパークの整備効果により、スケートボードのスポーツとしての認知向上、普及につながっていると我々は感じています。スケートボードパークについてのメディア露出も増えており、それとともに長居公園の価値は上がっていると思います。

■スケートボードパークの収益

公園内のスケートボードパークは収益を得る施設ではなく、公園全体の魅力・価値を高める施設と捉えています。

■スケートボードパークの今後の展望について

長居公園は住宅地の中にある公園であり、天王寺のてんしばや大阪城公園とは求められる機能が異なると考えています。スケートボードパークは年代や世代を超えて楽しめる場所にして行きたいです。これは長居公園全体の考え方にも合うと考えています。また、スケートボードがアーバンスポーツとして普及し、気軽で自由に楽しめるスポーツになってほしいです。また、３ヵ月に1回の初心者向け体験会は今後も継続して行きたいです。

■長居公園のスケートボードパークの魅力・発信してほしいこと

スケートボードパークの魅力として、ローカルスケーターと共に整備したこと、現在もそのスケーターが運営に関わってくれていること、都会のど真ん中に1,600㎡の規模で24時間楽しめる場所は他にはないという点が挙げられます。また、日常の気軽なパーク利用を通して、スケーター同士が年代や世代を越えて繋がることがスケートボードを新しいスポーツとしての普及に貢献でき、公共公園内にスケートボードパークを設置することの目的と考えています。将来、我々のパークを利用してくれた子どもたちがオリンピックの舞台で活躍してくれることを期待しています。

取材・編集・構成　荘田 隆久、増田 将典、友園 慎也

スケートボードとスケートパークの歴史

スケートボードの歴史

■スケートボードの起源（1940年代）

・カリフォルニアで木の板に鉄製の戸車を付けて滑った遊びが始まり

初期のスケートボード
Kino-SHOP/ROOM SERVICE HPより

■スケートボードの誕生（1950年代）

・ローラーダービー社から「ローラーサーフィン」が発売

・木製チップとゴム製のホイルが付いた玩具

・主に公園や歩道などでスケーティング

■第1次スケートボード・ブーム（1960年代）

・ホイルの材質がゴムからウレタン素材に変わり、滑走性能が飛躍的に向上

・ダウンヒルやフラットランドの大会が行われる

スケートボードコンプリートセット
ムラサキスポーツHPより

■第2次スケートボード・ブーム（1970年代）

・樹脂やプラスチック製のスケートボードが流通

・ベニスビーチで『Z Boys』が結成

・スケートパークが建設される

・日本にビッグウェーブ到来

■第3次スケートボード・ブーム（1980年代）

・全日本スケートボード協会が設立

・ストリート・スケートの確立

・VHSの発展により、スケートボードを動画で見ることができるようになる

■オリンピック正式種目に（2021年）

・東京2020オリンピックにて、初めて夏季オリンピックの競技として実施

オリンピック正式種目に
公益財団法人 日本オリンピック委員会HPより

スケートパークの歴史

■世界初のスケートパーク

1974年、ニュージーランドに世界初の公共スケートパークがオープン

■日本のスケートパーク

1975年、太東（千葉）に「太東スケートボードセンター」がオープン（日本初）

その後、蓮沼（千葉）に「蓮沼海浜公園ローラースケート場」、渋谷（東京）に「カリフォルニアスケートパーク」、横浜（神奈川）に「ハマボール」屋上のスケートパークなどがオープン

■スケートパークの取り壊し

1970年代終盤、スケートボードブームの終焉により、スケートパークが壊されていく

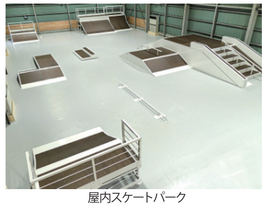
■スケートパークの建設

2000年代中盤、スケーターの署名活動等により、再び各地に公共スケートパークが建設される

参考にしたHP

一般社団法人 日本スケートボード協会. 〈http://www.ajsa.jp/info/gaiyo/History.html〉.
ムラサキスポーツ. 〈https://www.murasaki.co.jp/〉.

屋外スケートパーク
原池公園（堺市）指定管理ミズノHPより



屋内スケートパーク
AKAMARUスケートパーク公式HPより